

公立病院経営強化プラン(当該病院の果たすべき役割・機能等)の概要

別添様式1

施設名	船橋市立医療センター																																															
所在地	船橋市金杉1-21-1																																															
許可病床数 (床)		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計																																									
	開設許可	449					449																																									
	使用許可	449					449																																									
機能別病床数(床)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計																																									
	R4.7.1時点※1	429	20				449																																									
	R7年	429	20				449																																									
	R10年見込み※2	473	20				493																																									
※1 令和4年7月1日現在の機能別病床数を記載。 ※2 R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。																																																
2025年以降において担う 役割		がん	脳卒中	心血管 疾患	糖尿病	精神 疾患	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他																																			
	R4.7.1時点※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																					
	R7年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																					
	R_年見込み※2																																															
	その他の内訳及び補足等 ・令和9年度中に現病院から新病院への移転・開院をする予定。 ・新病院では一般病床493床の他に、精神身体合併症を有する救急患者への対応を強化するための精神病床7床を整備する。 ※増床分の病床については千葉県知事より承認・配分済み。 ・新病院の計画は感染患者専用動線や陰圧室の設置等、大規模感染症の対応を想定したものである。																																															
※1 令和4年7月1日現在の担っている役割を記載。 ※2 R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。																																																
地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき 役割・機能 ※経営強化プランの記載内容を 記入	当センターが果たすべき主な役割・機能は、 ①東葛南部保健医療圏の地域がん診療連携拠点病院として地域との更なる連携を推進すること、 ②重篤救急患者のための医療を提供する救命救急センターとして体制を充実させること、 ③災害拠点病院として大規模災害時における県内の医療救護活動の中核となり、DMATなどの体制整備を推進すること。 今後、高齢者人口や医療需要が増加することを踏まえ、当センターの建て替えにあたっては、高度急性期病床を増床する整備計画となっている。また、ユニット型の精神身体合併症病床を新たに整備することで、精神医療においても十分な医学的管理下で診断及び治療を行うことができるようになり、療養環境の向上を見込んでいる。																																															
地域包括ケアシステムの 構築に向けて果たすべき 役割 ※経営強化プランの記載内容を 記入	高度急性期機能及び急性期機能を中心とした医療を提供し、治療を終えた患者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、切れ目のない医療を目指している。具体的には、地域医療連携室、がん相談支援室、入院支援室が一体となり、患者からの相談や退院の支援を行うことで、安心して地域で療養を続けられる環境を整える役割を担っている。																																															
機能分化・連携強化の取組 ※経営強化プランの記載内容を 記入	他の地域医療支援病院5施設と定期的に地域医療連携に関する委員会を設置して互いに情報共有し、地域医療支援病院としての連携を図っている。 当センターは、市内で唯一の救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院として、急性期医療及びがん診療を中心とした高度医療を提供している一方、一次・二次救急の患者は近隣病院や診療所に対応してもらい、回復期のリハビリが必要な患者は回復期病院に転院依頼をすることで、互いに機能分化と連携強化を行い地域全体で適切な医療を提供することに努めている。 現在、老朽化や狭あい化といった施設的な限界が当センターの課題となっており、今後も本医療圏において、がん、脳卒中や心血管疾患などの患者の増加が見込まれていることも踏まえ、当センターは地域での役割を維持強化していくために建替事業(令和9年度開院予定)に着手している。建て替えにより、担っている役割を強化し、また、地域医療構想調整会議を通じて、圏域内での医療需要に柔軟に対応していくことを目指す。																																															
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 ※経営強化プランの記載内容を 記入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>8年度</th> <th>9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>件</td> <td>4,400</td> <td>4,400</td> <td>4,400</td> <td>4,150</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス使用割合</td> <td>%</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>%</td> <td>73</td> <td>73.5</td> <td>74</td> <td>74.5</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>%</td> <td>111</td> <td>113</td> <td>115</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医の新規受入件数</td> <td>件</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>												項目		6年度	7年度	8年度	9年度	手術件数	件	4,400	4,400	4,400	4,150	クリニカルパス使用割合	%	60	60	65	65	紹介率	%	73	73.5	74	74.5	逆紹介率	%	111	113	115	117	臨床研修医の新規受入件数	件	12	12	12	12
項目		6年度	7年度	8年度	9年度																																											
手術件数	件	4,400	4,400	4,400	4,150																																											
クリニカルパス使用割合	%	60	60	65	65																																											
紹介率	%	73	73.5	74	74.5																																											
逆紹介率	%	111	113	115	117																																											
臨床研修医の新規受入件数	件	12	12	12	12																																											
住民理解のための取組 ※経営強化プランの記載内容を 記入	地域医療構想における当センターの役割・機能や取り組みについての住民の理解を深めるために、広報紙やホームページといった媒体のほか市民公開医療講座などを通じ、住民へ分かりやすく発信することに努めている。 また、病院の経営方針等にかかる計画については、パブリック・コメントなどの方法により住民からの意見を吸い上げ、協働による施策の推進を目指していく。																																															

○協議・合意済の「具体的対応方針」に変更がある場合は、別添様式2にも記載ください。

○記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。

具体的対応方針(当該病院の果たすべき役割・機能等)の変更について

別添様式2

施設名	船橋市立医療センター												
所在地	船橋市金杉1-21-1												
変更事項	<input type="checkbox"/> 2025年において担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 機能別病床数												
機能別病床数(床)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計						
	変更前(2025年)	429	20	0	0	0	449						
	変更後(2025年)	429	20	0	0	0	449						
	変更前(2028年)	476	25	0	0	0	501						
	変更後(2028年)	473	20	0	0	0	493						
	届出予定の入院基本料	急性期一般入院料1 小児入院医療管理料2 救命救急入院料1 特定集中治療室管理料1 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 ハイケアユニット入院医療管理料1	緩和ケア病棟入院料1										
2025年以降において担う役割		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他
	変更前(2025年)												
	変更後(2025年)												
	その他の内訳及び補足等												
病床機能、役割を変更する理由	○病床数変更の経緯について 船橋市立医療センター建て替えについては、平成28年度に建替基本構想を策定、平成30年度に基本計画を策定した。策定作業の中で新病院の必要病床数の検討を行い、平成29年、平成30年に一般病床(ICU、SCU含む)52床の配分を受け、新病院は501床(MPUについては引き続き検討・協議)として基本計画を取りまとめ、その後の基本設計発注準備業務を経て、令和2年度より基本設計に着手する予定であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症や新病院予定地のまちづくりの遅れから基本設計の着手は見送ることとなり、結果的には、令和4年度に基本設計に着手となった。この間、建替基本計画策定から時間が経過したこと、新たな大規模感染症への対応を検討する必要性が生じたことから、令和3年度に病床数を含めた基本計画の内容について見直しを行った。具体的には、「診療科ごとの直近3年の1日あたり延入院患者数から必要病床数を試算」、「重症患者の流れを再検討」、「大規模感染症への対応」の視点から見直しを行い、病床数については493床(MPU7床含まず)とし、基本設計をとりまとめ、現在実施設計を行っている。令和5年8月には精神病床(MPU)7床についても配分を受け、全体で500床としている。												

○記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。